



伊野-INO-

~やって未来こい!

いの ENO暮らし2030~



発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5
Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530
E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区情報発信部会
Instagram



—伊野地区の人口—
(R7.2月末現在)

男性… 530人
女性… 575人
合計… 1,105人
世帯数… 407世帯

9名の卒業生へエールを！ 卒業おめでとう！！

3/18



3月18日、伊野小学校にて卒業式が挙行されました。今年度の卒業生は9名。卒業生は在校生・教職員・保護者・地域の皆様に祝福され、6年間過ごした学び舎をあとにしました。4月からはいよいよ中学生。伊野小で過ごした6年間の思い出を胸に、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに中学校でも頑張ってください。またコミセンにも寄ってくださいね。



子ども × 島大生 × 地区住民

伊野バージョン

参加者36人

2/16



—でか！カルタ大会！—

島根大学生とまちづくり部がコラボして行う今年度3回目の伊野バージョンは、伊野小体育館にて大きなカルタ取りとフルーツバスケットをしました。

大学生が手作りにしてくれたビッグサイズのカルタ取りは、読み手が読み札を読むと子どもたちが体育館の端から走って行って絵札を取り合いました。「マスカラをつけますから」「着る服がない」といった一風変わったカルタで、参加者の笑いを誘っていました。

また、フルーツバスケットはお題に当てはまる人が、自分と隣以外の椅子に移動して座る椅子取りゲームです。子どもと大学生だけでなく大人も参加し、イスを求めて右往左往！みんなで一緒に活動したので、心も体もホカホカでした！

(コミセン自主企画事業 まちづくり部)



やって未来こい!通信

続報

延べ153名出動

IGF~伊野グリーンフォース(草刈隊)~ 農水部会

2023年8月に発足以来、多くの皆様にご利用いただきありがとうございます。現在23名の会員で活動を行っています。今年度は28件の依頼を承りました。特に高齢者世帯の方からの依頼が多く、大変喜ばれています。5月には伊野小学校の環境整備にもボランティアで参加しました。これからも皆様の困りごとに寄り添っていきたいと思います。草刈をして欲しい方や一緒に活動して下さる方がありましたらどうぞお声掛けください。

(IGF事務局 西村 邦男)



月1回 参加者延べ70名

シニアのスマホ教室

教育部会



高齢者対象のスマホ教室を開催し2年が経ちました。毎月開催し、講師の山中のえんさんには隔月で来ていただき、写真の撮り方や使い方などを教えていただきました。グループLINEでは、何気ない日常の写真を送り合いスマホ教室以外での交流も深まっています。スマホ教室とはいえ、ざっくばらんに楽しくスマートフォンに馴染んでいただきたい為、勉強のような時間はありません。お茶のみがてら気になることや聞いたことがありましたら、ご自由にご参加ください。

(代表 兼折 治加)



4月~3月 参加者延べ50名

シニアまちおこし隊 ヘチマ水づくりに挑戦!

シニアまちおこし隊を発足して、2年が経ちました。2年目のヘチマは上手く育たず、抽出量が昨年度より少なくなりました。今年度は化粧水作りの募集をし、多数の方にご参加いただき、ヘチマ化粧水をお渡しすることが出来ました。来年度へ向けて課題もでき、益々ヘチマ作りに力が入ります。今後も、ヘチマ作りや化粧水作りを無理なく楽しく活動していきたいと思っています。



次回の「伊野いち」にてヘチマたわしを販売しますのでお楽しみに!

(代表 兼折 治加)



子どもシニアも一緒に舌鼓 毎回60人が利用 盛況な「いの食堂」だが悩み多し

2023年10月から始まった毎月1回開催の「いの食堂」。子ども(高校生まで)100円、大人300円でランチを提供しています。「次はどんなメニューか楽しみ」「日曜日の昼食をつくる手間がはぶける」と大好評。毎回、50~60人の利用があります。そのうち、子どもは3割強。シニアの皆さんの需要が高いと感じています。



ボランティアお願い

固定メンバーのチームが年間を通した運営を行っている他地区と違って、いの食堂は複数のチームが年間1~3回調理を担当していますが、調理スタッフが不足しているのが悩みです。食後の食器洗いや会場の片づけスタッフも不足しています。ボランティアをお願いします。食材提供もお待ちしています。



「いの食堂」はだれでも利用できる交流の広場ですが、開催日やメニューを皆様にお知らせする手段が少ないのも悩みです。開催案内や申込受付はコミセンの月間予定表に掲載しています。ご近所の方やお友だちと一緒においでくださいませ。

(いの食堂実行委員会)



地域おこし協力隊
あさえだしようこ
★ 朝枝尚子 さん
★ 連載 一第13回 最終回一



朝枝@協力隊の
出雲伊野暮らし

【卒・協力隊のご挨拶】

野山の植物たちが芽吹く季節がやってきました。毎年、春はドキドキワクワクなシーズンですが、今年の春は殊に。2022年の4月より出雲市の地域おこし協力隊として伊野地区を中心に活動してきましたが、この3月末にて任期の終了を迎えることとなります。節目となる今、改めて皆さんからいただいた皆さんの応援やご協力に思いを馳せています。任期の終了後も引き続き伊野に暮らせることになりましたので、この場を借りて今後の活動についてのご報告もさせていただきます。

思い返せば赴任当初は、協力隊として地域を活性化するんだ!!新しい風を吹かすんだ!!と意気込む一方で、自分はこの土地に馴染むことができるのだろうか...どんなふう在活动中いけばいいのだろうか...そして卒隊後の自分はどうなっているのだろうか...そんな不安を抱えながらのスタートでした。3年間活動してみてわかったのは、地域活動は上げさで特別なことではなく、自分自身の今いる場所を「暮らしやすく、楽しくする」ためのプラスαの努力だということ。地域の為や誰かの為のように見えても、巡り巡って自分自身の幸福度として還ってくるものだという事でした。自分なりに奔走し、良い意味で角が取れた(笑)今、「道ですれ違う人の中に顔見知りが増えたよね~」そんなシンプルなことにしみじみと喜びを感じている私です。卒隊後も伊野に暮らそうと思えたのは、3年間の活動で出会ったたくさんの方々のおかげです。人をつなぎ留めるものは結局は人なのだ実感しています。3年間本当にお世話になりました。4月以降も引き続きよろしくお祈りいたします。

【お知らせ その1】

移住のきっかけをくれ、一緒に出雲暮らしを楽しんだ娘は4月より県外に進学することになりました。娘にとってこの3年間は貴重な経験になったことと思います。娘に代わってお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



涙の卒業式

【お知らせ その2】

西上町内にて和ハープなどの地域資源を活用した拠点「和ハープカフェ・ラボ 8mon(ハモン)」をOPEN予定です。店舗営業は毎週水、木、土を予定しています。小さなお店ですのでランチは要予約となりますが、どうぞよろしくお祈りいたします。



伊野の風景をアイコンに

第7回

参加者23名 1/26

伊野ふるさとかるた大会



やって未来こい! ネット教育部会と青少年育成協議会の共催により、伊野ふるさとかるた大会を伊野児童館で開催しました。2名1組のチーム戦。今大会は、8組16名の参加がありました。小学校での練習の成果もあり、読み札をしっかりと聞いて、「はい!」と元気よく、素早く、絵札に飛び込む姿がありました。1月ですが、晴れて少し暖かくなってきた会場で、白熱した試合となり、上着を脱いで半袖で試合に挑む選手もいました。優勝は、原田航佑さん・佐藤湊さんの「GGチーム」でした。

急遽、応援に来ていただいた保護者の方々とチームを組んで大会運営に協力していただきました。選手の皆さん、応援に来ていただいた皆さんのおかげで、大会が大いに盛り上がりました。ありがとうございました。

(伊野地区青少年育成協議会・未来こい! ネット教育部会)



優勝 GGチーム

伊野ふるさととすぐろく 伊野小学校へ寄贈

2/28

伊野ふるさとカルタに登場するスポットの場所を知ろう!

伊野を舞台にしたすぐろくを、伊野やって未来こい! ネットの教育部会と一緒に令和5年度に作成しました。伊野をぐるっと1周する普通のすぐろく遊びや、カルタを使った複雑なすぐろく遊びなどもできます。



今年度、伊野小学校へ伊野地区青少年育成協議会より寄贈することにしました。すぐろくの寄贈時には、山崎会長からすぐろくの説明をしていただき、各学年の代表者へ手渡ししました。すぐろくやカルタを通して、いのっ子達に伊野地区の事をより知ってもらい、地域への愛情が深まる事を願っています。

カルタやすすぐろくへのお問い合わせは、伊野地区青少年育成協議会(事務局:コミセン)までお気軽にお問い合わせください。
(青少年育成協議会長)

参加者19名

手づくりみそを仕込む会

1/22

手づくりみそで作る味噌汁の味は格別。毎日食べるものだから、おいしいものを食べたいですね。今年も食の会の皆様にご指導いただき、味噌づくりの会を開催。一人7キの味噌作りに挑戦しました。今回は2人1組のペアで協力して味噌作りにチャレンジ。この会はリピーターの方が多いですが初めての方も3名あり、経験者の方が初めての方にコツを教えてあげながらリードする姿もみられ、仲間で協力しながらおしゃべりも弾み、楽しく作業できました。仕込みが完了した後はみんなでティータイム。豆を柔らかく煮る所が大変だったという感想も聞かれました。半年後、出来上がりが待ち遠しいですね。
(自主企画事業 総務部)



親子で一緒に!

参加者20名 2/9

ケーキをつくろう

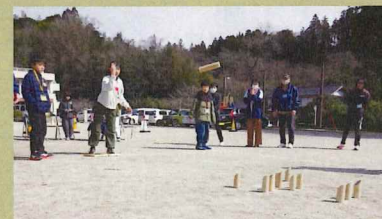
バレンタインデー前にお家でケーキが作れるようになり!とケーキ作りを開催しました。講師は西灘町内の岩成尚子さん。スポンジケーキは、卵白をしっかりと泡立てる事が大切!一人ずつ交代をしながらハンドミキサーを使って、しっかりと泡立てました。オーブンに入れて25分。子ども達はかわがる確認にきては、膨らむスポンジに感動していました! クリームが泡立て・フルーツカットも先生やお母さん、お父さんに確認しながら子ども達が自分でやりました。お楽しみのデコレーションは、友達と相談をしながら、可愛くデコレーションしてくれました。完成したケーキ切り分けて、いただきます!「美味しいね!」とみんな笑顔でケーキを食べていました。参加者の皆さま、ご参加ありがとうございました!
(伊野地区青少年育成協議会)



第2回

参加者53名 3/9

伊野モルック大会開催



大人も子どもも楽しめる、フィンランド発祥のスポーツ、モルック。昨年度に続き、第2回大会を開催しました。12チーム37名の選手、下は小学1年生~上は80代の方

で、幅広い年代の方々にご参加していただきました。応援を含めると50名を超える方にお集まりいただきました。今大会は、第1回大会のルールを見直し、初心者でも楽しめるような伊野独自ルールを採用しました。狙いを定めたスキットルが1本倒れると、ワッ!と歓声が起こったり、対戦チームに拍手を送ったりと、和やかな雰囲気で大会が進みました。予選から決勝の合計5ゲームを制した第2回モルック大会の優勝者は、ともだちチーム(佐藤みなどさん・手島あおとさん)でした。参加してくださった皆さま、ありがとうございました。コミセンスポーツ部会では、スポーツを通して、子どもから高齢者まで幅広い皆さまに楽しんでいただけるようなイベントを計画していきますので、来年度も皆さま是非ご参加ください。
(コミセン自主企画事業 スポーツ部)



優勝「ともだちチーム」

伊野小6年生 地域に感謝の会

参加者25名

1/23

毎月第4木曜日に開催している「こみカフェ」ですが、この日は伊野小6年生が地域や地域の人に感謝の思いを伝える「地域に感謝の会」を開いてくれました。

当日はトランプやクイズで地域の方と交流をし、6年生手作りの美味しくつやつやの芋羊羹でおやつタイム。その後、歌を披露してくれ、最後には手書きメッセージ付きの手作りクッキーをプレゼントしてくれました。愛情いっぱい心温まる会で、参加された皆さんは大感激でした。

会を開いた子どもたちからは、「涙を流された人もおられて、それほど私たちを大切に思ってくれていることを実感しました。」「都会などではできない、私たちにしかできないことができて良かったです。」といった感想をもらいました。地域思いの子どもたちが大きくなった時、伊野がどんな場所になっているのか楽しみです。
(自主企画事業 健康福祉部)



子どもの命・人権を守る

人権研修会開催

30名参加

1/21

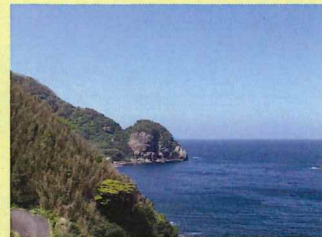
雲南市教育委員会の佐藤文宣さんを講師にお迎えし、「子どもの命・人権を守る」という演題でお話頂きました。性の多様性について、佐藤さんの中学校教師当時の実体験をもとにお話し頂き、参加頂いた皆さんもとても身近な問題として思いを共有できたと思います。「みんなちがって、みんないい」「君はそのままでもいいんだよ」この気持ちをみんなが持って欲しいと感じました。時代も日々変化し、多様性を認めあう世の中。私たち大人も変容していく世の中について研修会などを通してしっかり学ぶことが改めて重要であると感じました。今後もこのような研修会を継続して開催していきます。

(伊野地区同和教育推進協議会)



伊野ふるさと探訪 Part39 ~番外編~

うし くび 「牛の首」



西地合の西の端に海へ突き出した岬があたかも牛が頭を下げて水を飲んでいるように見える処から牛の首と呼ばれています。地元の人は若松鼻と言っています。出雲国風土記では自毛崎(しものさき)、楯縫郡との境とあります。この言葉は朝鮮語ではないかとの説があります。朝鮮語で牛は「ノ」、頭は「シモリ」と言い、「ノシモリ」…「シモリ」…「シモの崎」となったということです。この岬の坂浦側は高さ100m位の断崖で、かの一畑薬師の元祖、与市が稲藁千把を身に着け飛び降りた処と言われています。十六島と同じように古代に朝鮮半島より来ていた人々が私たち出雲人の先祖ではないかとも考えられます。

(郷土誌研究会 常松 士郎氏)

サークル紹介

~メンバー募集中!~

伊野コミセンを拠点に活動しておられる団体の皆様をご紹介します。空き時間を趣味の時間に活用してみませんか?新しい仲間や出会いの場になりますよ。少しでも興味を持たれた方がありましたらまずはお気軽にコミセンまでおたずねください。

● ひまわりの会 (介護予防教室)

月1回
基本 第2水曜日
10時~11時



● 伊野神楽

不定期
基本 月1~2回程度
20時~22時



● パッチワーククラブ

月1回
基本 第1水曜日
9時~11時



● 生花クラブ

月1回
基本 第3金曜日
13時30分~14時30分



● フレンドリー (リフォーム作品)

月1回
基本 最終月曜日
9時30分~12時



● ブンブンズ (自然を楽しむ会)

不定期
概ね月1~2回
1回2時間程度



● 伊野民謡くらぶ (唄、三味線、踊り、銭太鼓等)

月2回
第1・3水曜日
19時30分~21時30分



3/2 伊野サッカークラブ 卒団式



原田直歩さん、原田舷佑さん、卒団おめでとうございます。



3/23 伊野マリンズ お別れ会



坂本景野さん、原田深唯さん、原田弥空さん、卒団おめでとうございます。

不定期 年間12回 参加者延べ50名

ブンブンズ ~自然を楽しむ会~

今年度より伊野の自然を楽しむ会を発足。毎回2~8名の参加者で活動しました。野山を歩き道端にある季節の和ハーブを摘み取り茶葉にしたり、天ぷらやうどん、スムージーなどに調理して食べたり、麴と混ぜて味噌に加工するなどして楽しみました。また、ハマ茶(カワラケツメイ)の栽培や有用植物の保護、有害鳥獣捕獲用の罠づくりなども行いました。今後は和ハーブを使ったアロマオイルやお香づくり、養蜂や燻製、ジビエなどにも挑戦し活動の幅を広げていきたいと思っています。どなたでも参加できます。興味のある方がおられましたらぜひ一緒に活動しましょう。お待ちしております。



(自然を楽しむ会 代表 朝枝尚子)

令和7年度

伊野地区の主な行事予定

| | |
|-------------|----------|
| 伊野地区町内対抗 | |
| ソフトバレーボール大会 | 6月22日(日) |
| 伊野地区夏祭り | 8月13日(水) |
| | (予備日14日) |
| 伊野地区戦没者慰霊祭 | 9月7日(日) |
| 伊野地区民体育大会 | 9月28日(日) |
| 伊野地区敬老会 | 10月5日(日) |
| 伊野地区文化祭 | 11月2日(日) |

※現時点での予定です。変更になる場合もあります。